

## 公募型研究課題提案書

◆公募する研究内容に対応した所内の研究計画 名称：管制支援機能が管制業務作業量に及ぼす影響に関する研究 研究期間：令和2年度～令和5年度 実施主任：平林 博子		
◆課題名 航空路管制業務におけるチームワークロードの計測手法の検討		
◆研究分野 人間工学	◆要望研究期間 令和2年度～令和4年度(3年間)	◆要望研究形態 請負型
◆研究目的 ヒューマンファクターを考慮した航空路管制業務ワークロードを検討するため。		
◆研究分野における位置づけ及び動向、解決すべき課題、問題点など 航空管制業務は、コンピューターによる自動化やシステム支援機能を活用しつつ、航空管制官の知見や経験からの推測、それに基づく判断等の人的要素も重要とされることから、管制支援システムを使用した管制業務を定量化するうえで、ヒューマンファクターを考慮することは必須である。特に、航空路管制においては交通流が複雑であることから容量値にワークロードが及ぼす影響は大きい。さらに、連続した交通流を取り扱ううえで調整業務も重要であることから、調整業務も含めたチームとしてのワークロードの検討が必要である。		
◆目標 管制業務に適用可能なワークロード計測手法の調査、検討及び実測		
◆期待する成果 日本の航空路管制業務に適した管制作業量に関するワークロード計測手法の提案		
◆提供資料等 航空路管制において使用する管制システムに関する資料、管制業務運用の詳細に関する資料		